

|     |                |       |       |
|-----|----------------|-------|-------|
| 科目名 | 国語<br>Japanese | 科目コード | 10040 |
|-----|----------------|-------|-------|

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 学科名・学年   | 機械工学科・4年（プログラム1年）       |
| 担当教員     | 今野 哲（一般教育科）             |
| 区分・単位数   | 履修単位科目・必履修・1単位          |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義28，その他2】   |
| 教科書      | 『現代を読む はじめての評論文20選』明治書院 |
| 補助教材     | 担当者によるプリント              |
| 参考書      | 国語辞典など                  |

### 【A．科目の概要と関連性】

3学年までの学習活動を土台に、読解力と表現力の両面から、より高度な学習活動を展開する。語彙力や論理的な思考力・表現力などは、文章を実際に読解することによって錬成される面が大きい。そこで、4年次は高度な内容の現代文の読解を中心として、あわせて文章作成にも取り組み、国語力の拡充を目指す。

関連する科目：国語（1～3年次履修）、文学（後期履修）、文学 A・B（次年度履修）

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標                 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|----------------------|-------|-------------|
| 高度な内容の論理的な文章を理解する。   | 40%   | (a1)・(a2)   |
| 豊かな語彙力を身につけ、言語感覚を磨く。 | 20%   | (b2)        |
| 論理的で明快な文章を書けるようにする。  | 40%   | (b1)・(b2)   |

### 【C．履修上の注意】

3年次までの学習内容を復習しておくことが望ましい。また、日常の予習復習を欠かさないこと。授業に際しては、教科書を持参すること。課題は必ず期日までに提出すること。国語辞典を携帯し、適宜利用すること。さらに、日常生活における読書習慣を確立させておきたい。

### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（50%）【内訳：前期中間0，前期末50】

その他の試験（25%）

その他（25%）

【E . 授業計画・内容】

前期

| 回  | 内容            | 備考       |
|----|---------------|----------|
| 1  | 現代評論講読( 1 )   |          |
| 2  | 現代評論講読( 2 )   |          |
| 3  | 現代評論講読( 3 )   |          |
| 4  | 現代評論講読( 4 )   |          |
| 5  | 文章表現力の錬成( 1 ) |          |
| 6  | 現代評論講読( 5 )   |          |
| 7  | 現代評論講読( 6 )   |          |
| 8  | 現代評論講読( 7 )   |          |
| 9  | 現代評論講読( 8 )   |          |
| 10 | 文章表現力の錬成( 2 ) |          |
| 11 | 理解度試験         |          |
| 12 | 現代評論講読( 9 )   |          |
| 13 | 現代評論講読( 10 )  |          |
| 14 | 現代評論講読( 11 )  |          |
| -  | 前期末試験         | 試験時間：80分 |
| 15 | 試験解説と発展授業     |          |